

令和元年度卒業生 3年間の軌跡

3年間の努力を讃え 卒業表彰

卒業記念品／卒業前講座実施／新生徒会発足
島根県高等学校弁論大会／球技大会

卓球 第47回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会

柔道 全国高等学校柔道選手権大会 出場権獲得

駅伝 千代延、絶好調！ しおかぜ駅伝区間賞
都道府県対抗男子駅伝も激走

女バス 県新人大会第3位／サッカー 新人戦

イラスト部／「キャリアサポート」／福祉科だより

セブ島留学プログラム

卒業生からのメッセージ

通信制課程ニュース

vol.56

発行／明誠高等学校

2020年(令和2年) 3月2日(月曜日) 第56号

<http://www.meisei-masuda.ed.jp>



祝・卒業

令和元年度
卒業生

3年間の軌跡

それぞれの思いを胸に
入学して早3年。
その笑顔や真剣な顔には
確かな成長が見える。

クリーンディ



町に感謝の気持ちで取り組んだクリーンディ。

奉仕

日頃お世話
になってい
る学舎・三宅

1年遠足



仲間

バラバラ
だったクラ
スがまとま
り始め、楽しんだ秋の宮島遠
足。みなで世界遺産を満喫。

入学式



希望

平成29年4
月9日、まぶ
しい春光の
中、膨らむ思いを胸に校門を
くぐった入学の日。

中国大会



総体



躍動

最後の総体・各種大会。
振る力を持
てて臨んだ3
年

宝塚観劇



研鑽

楽しみにし
ていた東京
研修。東京大
学・早稲田大学・宝塚観劇・
施設訪問。それぞれの進路を
見えた研修となった。

感動

プロの演技
に魅了され
た芸術鑑賞。
みなでリズムを刻み、全生徒
が一体となった音楽鑑賞。



未来へ

明誠高校
での3年
間を通し
て、育んださまざまな力をも
とに巣立っていく151名、
素晴らしい未来が君たちを
待っている!!

挑戦

勉強に明け
暮れた毎日。
何度も練習
した面接。それぞれの栄冠を
手にした進学・就職試験。

体育祭



文化祭



団結

夏休みを返
上しての準
備。盛り上が
りを見せた文化祭、暑さの中
でがんばった体育祭。

●令和元年度 表彰者一覧表

賞	名	表彰者名
私立中学高等学校連合会賞		河野 風紗
産業教育振興中央会賞		[福祉科] 野崎 柚花
全国商業高等学校協会賞		該当者なし
島根県産業教育振興会賞		[福祉科] 金高 未歩
全国福祉高等学校長会理事長賞		堀田 彩加
島根県高等学校体育連盟賞(優秀選手賞)【陸上部】		長島 日和
島根県高等学校体育連盟功労賞【卓球部】		河野 風紗
島根県高校バスケットボール部専門部和上賞敢闘賞		永田 夢生
島根県高等学校野球連盟賞		田中 幸矢
全国珠算教育連盟賞		岸田 侑花
益田ロータリークラブ賞		品川 晃誠
島根県吹奏楽連盟賞		河上 爽・高橋 迅世

クラブ
功労賞

【卓球部】山崎 音愛・河野 風紗・梅森 由萌香
山本 愛・岡本 優莉奈・奥山 瑚々・郡山 七海
安原 迅
【陸上競技部】井口 彩実・杉内 宏衣
長島 日和・奥田 捺暉・千代延 巧
【柔道部】三浦 芽瑠・門脇 力一・西村 亜矢
上野 紗依・山口 康花・齋藤 理華
【珠算部】岸田 侑花・石橋 幸恵・田村 悠風

私立中学高等学校
連合会賞



河野 風紗さん(玖珂中)

産業教育新興
中央会賞



野崎 柚花さん(須佐中)

3年間の努力を讃え 卒業表彰

Special Thanks

卒業記念品

今年度151名の卒業生よりサンワ 自立式100型 ワイドスクリーン5台、サンワ プロジェクター7台、両面ホワイトボード案内板456×856キャスター付き 6台、両面ホワイトボード案内板644×540キャスター付き 3台、賞状盆8尺 木製漆塗りを卒業記念品として贈呈していただいた。各教室での授業や学校行事において大切にに使わせていただきました。

新生徒会発足

来年度の生徒会執行部が決定しました。生徒会選挙が行われ、会長には2年5組の原田君、副会長には2年2組の黒瀬君、2年3組の金原さんが選ばれた。新生徒会は、今までの伝統を受け継ぎながら新しいものも作り上げていくと意気込んでいる。生徒全員の模範となるように行動し、先頭に立って行動することで、新たにスケールアップした学校に変えていってほしい。

新生徒会メンバー

令和2年度 生徒会執行部

生徒会長	原田 承太郎
生徒副会長	黒瀬 順世
文化委員長	金原 穂乃歌
体育委員長	永岡 亜美
交通委員長	赤石 亜優
風紀委員長	生馬 杏香
保健委員長	勝田 蒼
図書委員長	安達 萌
事務補佐	中島 誠
事務補佐	佐々木 誠
補佐	佐々木 誠

永岡亜美さん
最優秀賞に輝く

令和2年1月25日、出雲市のビッグハートで、令和元年度島根県高等学校弁論大会が行われた。本校からは、2年の永岡亜美さん(益田中学校)と一年の大久保芽歩さん(次郎丸中学校)が出場した。

永岡亜美さんは、演題「友達に教えてくれたことー世界でたったひとりのわたしー」のもと、誰もが自由に自分を表現できる世界をつくるべきだと主張。最優秀賞に輝いた。永岡さんは、7月31日から高知県で開催される全国高校総合文化祭に出場する。



島根県高等学校弁論大会で最優秀賞を受賞した永岡亜美さん

卒業前講座実施

3年生を対象に毎年実施している卒業前講座が2月3日から5日までの3日間実施された。今年度は、「キャリアサポートの発表」、「新生活に向かって」、「ハンセン病について」、「福祉科発表」、「マイプロジェクトの発表」の講座を開講した。今年度は聴くだけでなく、発表する機会を設け、生徒同士の意見を交換する場も設けた。これまでに、科が違い、知らない部分を少しでも共有することができた、幸いである。

球技大会

今年も冬の球技大会が行われた。冬は福祉科が参戦するため、夏よりも熱い戦いが繰り広げられた。毎年3年生の球技大会にかける思いが強く、昼休みや放課後を利用して球技の練習に励んでいた。どの競技もレベルが高く、観ている生徒も自然と声を出して応援している姿が印象的であった。来年度も今年を超える熱い戦いを期待したい。



球技大会バスケット



球技大会バレー

Meisei High School
卓球
第47回全国高等学校選抜
卓球大会中国地区予選会

令和元年12月20日～22日まで広島県呉市で第47回全国高等学校選抜卓球大会中国地区予選会が開催された。男子学校対抗では惜しくも予選リーグ敗退となったが、女子学校対抗では予選リーグ2勝0敗で決勝リーグに進出した。決勝リーグは8チーム総当たりで行われるが近年中国地区は全国的にレベルが高く厳しい戦いとなった。1年生の竹村 和選手が6勝、中国選手権2位の実績を持つ古川未夢羽・竹村 和組のダブルスが5勝を挙げる活躍、4位で全国選抜の代表権を獲得した。3月千葉県で開催されるセンバツでも厳しい戦いが予想されるが、年末に全国の強豪校と韓国が参加したニッタクカップで優勝、力があることを実証できた。16年連続20回目の出場となり全国高体連から表彰を受ける今回も念願の表彰台を目指す。

Meisei High School
柔道
全国高等学校柔道選手権
大会出場権獲得

◎総評
浜田市の石見武道館で県選手権が開催された。初日の個人戦の男子無差別級では、古川が準決勝で序盤は10キロ以上重たい相手にリードしていたが、最後に逆転負けをした。女子52キロ級以下の伊藤は、準決勝で優勝した相手と対戦した。積極的な攻めを展開したが、相手の攻める力が上回った。63キロ以下級の古川は、これまで積み重ねてきた稽古量を自信にして、冷静な試合運びで相手を圧倒し、得意の一本背負い投げで勝利した。無差別級の遠藤は、課題としていた組み手の攻防に挑戦して果敢に攻めたが、相手の圧力を超えることができなかった。



全国高等学校柔道選手権大会にて

人中3人が、高校から柔道を始めたチームがお互いを励まし合い、成長する姿に、会場から温かい拍手が送られ、生徒たちの自信につながった。女子は、県新人の優勝校の出雲西高校と決勝戦を行い、1-1の内容で敗れた。冬休みから多くの合宿や出稽古を積む中で、より緊張感のある試合ができるようになり、今後に繋がる大会となった。



全日本卓球選手権
古川さん

令和2年1月13日～19日まで大阪の丸善インテックアリーナで天皇杯皇后杯2020年全国日本卓球選手権一般・ジュニアの部が開催された。古川未夢羽・木下陽菜の2名がジュニアの部に出場、1回戦を突破したが2回戦で敗退した。またこの大会には、明誠U15所属の中学3年生で日本代表経験もある、山崎唯愛と直江 杏が一般シングルス、ダブルス、ジュニアシングルスに出場、山崎唯愛がジュニアでベスト32入りした。国内最高峰の戦いの雰囲気を感じ、成長のきっかけをつかんだだろう。

Meisei High School
天皇后杯2020年
全日本卓球選手権
一般・ジュニアの部



都道府県男子駅伝 4区を
激走する千代延君

Meisei High School
駅伝
千代延、絶好調！ しおかぜ駅伝区間賞
都道府県対抗男子駅伝も激走

県高校駅伝において、好タイムで区間賞を獲得した千代延巧君が好調を維持し、しおかぜ駅伝においても区間新記録まで、あと数秒という好タイムで、区間賞を獲得、今大会の優秀選手賞に輝いた。勢いそのままに今後の練習でも、自己新を連発し、新春の宮島街道を舞台に激走が繰り広げられる第25回都道府県対抗男子駅伝の島根県チームのメンバーに選出された。また、チームメイトでもある駅伝プロック主将の奥田捺暉君も県総体5000mの優勝等が評価さ



都道府県男子駅伝島根県チーム (中・高生)

◎結果

団体	男子	女子
個人	男子 3位	女子 2位
個人	男子差別級	
古川 隼大	3位	
女子52キロ以下級		
伊藤 花恵	3位	
63キロ以下級		
小川 絢女	優勝	
無差別級		
遠藤 乃愛	2位	

Meisei High School
バス
県新人大会
第3位

1月10日から松江で行われた県新人大会で、第3位に入り2月7～9日に広島市で行われる中国新人大会出場を決めた。来年度から中国選手権大会の開催時期が県総体以降となり、例年4月に行われていた県中国予選がなくなるため、今大会の結果がそのまま県総体のシードに直結することになり、これまで以上に重要性の高い



中国大会出場を決めた女子バスケット部

大会となった。これまで3年生主体のチームだっただけに、新チームとしてのキャリアが少なく、どうしても後半に勢いが維持できないなど課題もあったが、試合を通して成長していく姿も見られた。この経験を今後にしっかりと繋げていきたい。

一回戦 対 矢上88-53
二回戦 対 安来107-50
準決勝 対 松江商業59-88
3位決定 対 出雲北陵98-57
ベスト5：関口奈優(益田中)

キャリアサポート

3年生は各公民館での活動を終え発表会の準備に取り掛かっている。発表会の準備資料をのぞいてみると、充実した活動を行ったことがうかがえる。公民館で地域の人と関わり活動をした生徒の中には2月8・9日松江マッセで行われる探究活動やプロジェクトを実行した県内の高校生の発表会「マイプロジェクトアワード」に参加し自らの実践や活動を通して得た学びを発表する。全国大会にもつながる大きな大会である。大いなる飛躍が期待される。

2年生にも3年次の公民館での活動を見据えて自ら地域のボランティアに参加し活動を始めている生徒もいる。昨年より準備が早くこれまでに以上の成果が期待できる。3年生の発表を聞く機会も設けてあり、その中から自らが出来ることを見つけて活動してくれるものと確信している。

Meisei High School
サッカー
新人戦



県高校新人大会

新チームで臨んだ新人戦は、またしても4位という結果であった。今年も中国大会への切符を逃した。新チームは個性が強く、色々なアイデアが出てくるチームだ。その反面、ぶつかることが多く、なかなか意見がまとまらない時がある。ベスト4の壁を越えられなかった悔しさを忘れず、夏に向けてしっかりと鍛えていきたい。夏までは期間が短いので、個々が目標に向かって一生懸命に頑張っていきたい。

3位決定戦
開星高校 3-2 ●



活動報告会の様子



アオハルライド - 自転車の旅

Meisei High School
イラスト部
第52回島根県
高校美術展

毎年、島根県内の高校美術部員が目標とする美術展が、昨年12月13日～12月16日に島根県立美術館にて開催された。本校から初めて、イラスト部として3年 久保ほのか・1年 佐々木萌瑛が出品し、審査の結果2作品共に入賞することができ、本当に良く頑張ってくれたと思う。



佐々木 萌瑛さん(益田中) 久保 ほのかさん(匹見中)

福祉科だより

◎12月13日、市民学習センターにて、令和元年度施設実習報告会並びに担当者会議が行われた。50名を超える施設実習担当者の方に参加していただき、その前で生徒たちは発表を行った。実習担当者の方からアドバイスを頂き、たいへん有意義な会となった。

◎3年生は1月26日、福祉科3年間の集大成である介護福祉士国家試験が行われた。本校の3年生31名が広島会場で受験した。春には国家資格を持った新介護職員が誕生する。



国家試験に挑んだ福祉課3年生

◎2年生は2月4・5日、訪問介護同行訪問を行った。在宅での介護の様子を実際に見て、勉強になったと目を輝かせていた。

◎1年生は1月20日より、日本赤十字社主催の救急救急員の講習を受講した。4日間の講習で、命の大切さ・緊急時の対処法(AED、三角巾、包帯法など)等を学んだ。

◎福祉校長会体験発表
2月12日松江農林高校で福祉を学ぶ5校の生徒達が集まり、体験発表会と交流会が開催された。体験発表には本校から2年福祉科の近藤海優さん(浜田一中)が出場。みごと最優秀賞を受賞し、中国大会への出場権を獲得した。昨年に続き2年連続の快挙である。



最優秀賞を受賞した近藤さん

セブ島留学プログラム

3年福祉科の三浦芽瑠さんが12月6日から3週間のセブ島語学留学、ボランティア活動を終え帰国した。学習を重ねる中で英語を使つてのコミュニケーションが少しずつできるようになり、他国のルームメイトや先生方とも良好な関係を築くことが出来たようだ。ボランティア体験では墓地スラムと山村集落にいきボランティア活動をした。自らの生活と比べながら活動することで、日本での生活が当たり前ではないという事実を身をもって体験したよう



語学学校卒業式



休日の1コマ

卒業生からのメッセージ

先輩へのエール
Fight!
先輩諸君

卓球部男子



主将 安原 迅(大田二中)

1・2年生の卓球部員の皆さんへ。自分たちが卒業し、新入生が入学してくると大変かとは思いますが、これからも今までの伝統を守って頑張ってください。そして新3年生を中心に、毎日毎日の積み重ねを大切に。

女子卓球部



主将 河野 風紗(玖珂中)

今まで先輩のみんながついてきてくれたから頑張ることができました。これから大変なことや苦しいことがあると思いますが、明誠らしさを忘れず、全国の舞台で輝いてください。応援しています。

陸上競技部



男子主将 大久保 良真(日原中)
女子主将 井口 彩実(高津中)
駅伝主将 奥田 捺暉(東陽中)

陸上競技部のみなさんと陸上競技を励んできたことをうれしく思います。これからも周囲の方々の支えがあり、陸上競技ができることへの感謝の気持ちを忘れずに仲間とともに日々の練習を頑張ってください。応援しています。

男子サッカー部



主将 美根 日向(我孫子南中)

僕たちはベスト4の壁を超えることができず、悔しい思いをたくさんしました。新チームには、ハードワークしてプレイヤーとしても人としても強くなり、全国大会に行けるように精一杯頑張っていました。応援しています。

女子サッカー部



主将 樋口 翔陽(萩東中)

キャプテン、副キャプテンを中心に、みんなで助け合って、良いチームを作ってください。ずっと応援しています。

公式野球部



主将 津野 玲二(城陽中)

私は少ない高校生活で一つだけ大きな後悔があります。それはもっと野球を本気で取り組めばよかったという後悔です。1・2年生は悔いを残すことなく、自分らしくプレーをし、甲子園を掴み取ってください。

男子バスケットボール部



主将 天野 創太郎(浜田三中)

1・2年生のみなさん、日々の練習を一緒にしたことや、一緒にふざけたことすべてが良い思い出です。今までありがとうございました。総体まではあとという間なので悔いの残らないよう自分たちの目標に向かって頑張ってください。

女子バスケットボール部



主将 永田 夢生(益田東中)

1・2年生のみなさん、今までついて来てくれてありがとう。みんなと一緒にできたことは私の宝物です。これからも一番を目指して『二笑懸命』レベルアップして、自分達が達成できなかった全国大会出場を成し遂げてください。

女子ソフトテニス部



主将 野崎 柚香(須佐中)

私たちは「みなで中国大会」という目標を掲げ日々練習を頑張りました。目標は達成できませんでしたが、日々目標に向かって努力したので悔いなく活動を終えることができました。これからも誰もが自然と応援したくなるチームを目指し仲間と協力しつても多く勝ち進んでください。

柔道部



男子主将 門脇 一朗(西郷中)
女子主将 三浦 芽瑠(鎌手中)

頼もしい先輩たちへ 私たち3年生に協力してくれてありがとう。多くの困難があり、何度も諦めかけましたが、成長する先輩の姿に励まされ、これまでに頑張ることができました。さらなる成長を心から願っています。

女子バレーボール部



主将 吉部 叶実(美都中)

今までありがとうございました。これからもう一つのこと、たくさんあると思いますが、そんな時は「気が利く」行動を意識して仲間と助け合い、意見を出し合っているチームを作り上げてくださいます。ずっと応援しています。

珠算・電卓部



部長 岸田 侑花(益田東中)

今年度は、1年生が3人入部し、大活躍でした。これからも、全国大会出場を目指して、頑張ってください。52回連続全国大会出場を楽しみにしています。応援しています！

吹奏楽部



部長 河上 爽(浜田東中)

皆さんと一緒にコンクールやライブで演奏でき、とても楽しかったです。今後もライブなど積極的に取り組んで、皆さんの演奏で、多くの人を笑顔に行ける活動をしていってください。いつも応援しています。

イラスト部



部長 久保 ほか(匹見中)

今年度は、イラスト部が関わるイベントが急増し、沢山の絵を描き沢山のことを学びました。三年生の卒業により、部員が少なくなり大変なところでしたが、諦めず行けるまで頑張っています。今後の活躍を期待し、応援しています！

演劇部



部長 中島 里彩(中西中)

演劇部には、キャストとスタッフが必要で、キャストは舞台上で役を演じる人で、スタッフは大道員や小道具制作や音響など舞台を支える人のことです。初めての方でも大歓迎ですので、ぜひ見学に来てください。

インターアクトクラブ



会長 品川 見誠(田万川中)

3年間のボランティア活動で地域の方や他校の生徒と交流し、世界に向けて学んだことはとても良い経験になりました。活動は大変なこともあるかもしれませんが、将来必ず役に立つ力になります。頑張ってください。

書道部



部長 青木 まい(中西中)

書道部の後輩へ 1日1日の活動を大切にして頑張ってください。書いた分だけ上手になります。コンクール、高校書道展で良い成績が残せるように願っています。

写真部



部長 宮本 拓実(高津中)

みなさんのおかげでなんとかな部長を務めることができました。先輩の皆さんは、写真大会やコンクールで多くの入賞をめぐし、いつまでも心に残る作品を撮ってください。3年間ありがとうございました。

図書文芸部



部長 上田 玲奈(三隅中)

図書文芸部では、創作活動だけでなく、「文芸散歩」と称して、毎年、作家ゆかりの地を訪ねる楽しい活動もしています。現在部員は一人です。ぜひ、文芸や活動に興味がある人は、図書文芸部に入って活動してみませんか。

茶華道部



部長 尾木 彩花(益田中)

茶道では難しい作法を覚えるのに苦労しました。部員が少ない中で文化祭のお茶席を開くことは大変でしたが、すごく楽しかったです。これから2年生が新部員に茶華道の魅力を伝え、先生と一緒に楽しんで活動を頑張ってください。

美根君が海外へ挑戦



本校サッカー部の美根君が、卒業後にオーストラリアの LionsFC に加入することが決まった。日本に来ていたスカウトの目に留まり、セレクションを受け、見事海外挑戦の切符を勝ち取った。卒業後は、U・20以下のチームに合流し、トップチームの外国人枠3枠を勝ち取るために、日々厳しい練習に励むことになる。美根君は、本校サッカー部で1年生の頃からレギュラーとして活躍し、3年生の時にはキャプテンを務めた。ハードワークとテクニックを駆使し、抜群のリーダーシップでチームを牽引した。今後の彼の活躍に注目したい。



LionsFC U-20 監督と

通信制課程ニュース

TSUSHIN NEWS



代表者会議の様子

2019年度第二回 SHIP コンファレンス
去る1月20日(月)、明誠高校通信制課程 SHIP 代表者会議が行われた。今年で4年目、今年度2回目となる今回は、理事長、学校長をはじめ、本校通信制課程教諭、SHIP 運営本部、全国14拠点のSHIP 校代表者が一堂に会し、広島県福山市で開催された。会議では、SHIP 校の運営について現状の問題点やその改善に向けての報告、次年度の準備事項、セブ島留学プログラム参加者募集など、非常に有意義な情報共有の時間となった。また、各SHIP 校独自の取り組みの報告では、各校それぞれが「地域に根ざした」活動を行っていることが紹介された。地元メディア(新聞、テレビ、タウン情報誌)に取り上げられているSHIP 校も複数あり、私たちが向かっている方向が間違っていないことを改めて確認することができた。
来年度よりさらに4拠点が新しく開設予定である。うち3つは初めて明誠高校通信課程が足を踏み入れる地域である。まだ見ぬ生徒たちとの出会いを楽しみにしつつ、少子化とは裏腹に増加し続ける通信制課程入学者の様々なニーズに応える教育が提供できるよう努力を続けていきたい。
※全国に展開している本校通信制課程のサポート校のことをSHIP と称しています。

